



2009/10 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2240 回例会 2009 年 11 月 25 日(水) SAA/加藤会員 会報担当/増田会員
例会場五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

点鐘 市原 RC 会長 千葉精春 ソング それでこそロータリー

お客様 蔵内耳鼻科医院長 蔵内隆秀様

市原 RC 会長 千葉精春



会長挨拶

本日はお客様として蔵内医院院長の蔵内隆秀さんにお越し頂きました。先生には「喉について」卓話をして頂きます。喉は鼻からの通路と口からの通路の交わる場所で、更に気管と食道に分かれるところです。とかく内臓等と比べ、何か症状が出ないと日頃気にも留めないところかと思えます。しかし生活する上に、生きるうえにおいて重要なところです。今日は興味あるお話をいただけるかと思えます。

さて、会員の皆様、今月 11 月もあと一週間です。今月はすでにご案内、ご承知の通りロータリー財団月間です。「E R E Y 毎年あなたも 100 ドル」の年次寄付については、8 月の理事会にて今年度も当クラブとして全員するとの決定をしていただきました。今月のロータリー財団月間にあたり 11 月にとっておりましたが、現在円高がすすんでおり昨日時点で 88.51 円です。11 月、12 月のロータリーレートは 90 円です。今後のロータリーレートをみながら対応致します。皆様からお預かりした会費ですので、執行部としてそこまで考えていることをご承知下さい。

財団についてもう一点報告です。白鳥会員から、個人認証ポイント 9600 P を有効利用すべくクラブ内で検討してほしいとのご提案を頂きました。感謝申し上げます。来年の 3 月から 4 月に向けて多くの会員に差し上げるよう方策を決めたいと思います。また、他にも個人ポイントをお持ちの会員の方々がおられます。その合計はクラブ内で約 16,000 P の個人ポイントがあります。個人ポイントをご自分では使えません。有効利用するためをお願いすることがあるかもしれませんが、宜しくお願いします。更に、クラブポイントとして約 10,000 P あります。クラブポイントは持っても何も意味がありません。ここ数年クラブポイントは消滅するとの情報もあります。今年度中に使いきりたいと思います。

委員会報告

親睦活動委員会 岡本委員長

来週水曜日 18 時より忘年親睦夜例会を予定しています。

先日みなさんへお願いしてありますが、チャリティーオークションを実施しますので、出品物のご提供をお願いします。

卓和 蔵内耳鼻科医院長 蔵内隆秀様

「喉について」

この度は、このような会に講演をさせて頂く機会を設けて頂き、ありがとうございます。

本日は、耳鼻咽喉科ということで「喉」についてのお話をさせて頂きます。

喉は、「食事をとること」、「呼吸をすること」、「声を出すこと」がクロスしている場所なのです。もともと動物では、あまりクロスしないところだったのですが、進化と共に、食事と呼吸が瞬間的に喉の中でクロスして、それぞれの場所へ向かうことで、飲み込みや呼吸の問題が起りやすくなっています。

例えば、「喉頭癌」は動物にはないと言われていたのですが、恐らく食事をするときの刺激などが喉につき、その刺激により人間にだけ起こる病気となっていると言われていました。後付けの機能としては、声を出すと言うことです。もともと喉には声を出す機能はなく、動物の中で一部の鳥だけは声を出せる形にはなっていますが、喉の形が変わってきた結果、変な音が出るようになり、それを声としてどんどん発達していったと言われていました。

咽頭は、口頭蓋という蓋があり、その下には器官と食道がバラバラになっていて、空気と食事に分けるために蓋を開け閉めしています。

“喉仏”と言われているのは、一般的には甲状軟骨といい、喉を囲うように声帯の部分を軟骨で囲っています。その表面が男性は出っ張り「喉仏」と言われています。

火葬の時にこれが「仏様」とかよく言われますが、これは軟骨で融けてしまうので違うのです。実際は、第二頸椎のことで、首の骨の上から二番目の骨が仏様に似ているので、これを取って喉仏と言っていますが、本当の生きている人の喉仏は軟骨なのです。

次に、声帯と言うのは、幕が左右に二つ合わさった形になっており、開いた時に呼吸し、閉じた時に声を発声するようになっています。

声変わりと言うのは、甲状軟骨に声帯がくっつき、思春期になると喉仏が出てきて、喉仏が声帯にくっついていて、声帯が伸びることにより声が低くなると言われています。40歳ぐらいまでは声が低く、加齢による声帯の萎縮で、それから声が高くなります。

母音を出すとき、周波数を音響分析すると、ある高さの所だけが強く集計される場所があるので、それをまとめるとその人の声の質が分かります。

アナウンサーの発声は、ホルマント周波数の高低差がはっきりしており。一般の人は、この差が少なくあいまいで、基本周波数もメリハリをつけているためアナウンサーの喋りは、はっきりしています。また、アナウンサーの早口は、久米宏さんが一番早く、一分間560字でかなり早いと思います。

歌手の人がどの様に呼吸しているかですが、息を吸った時に横隔膜がガクンと下がっている腹式呼吸になっていて、素人と違うところです。腹式呼吸は、「みぞうち」から「へそ」を膨らます感覚になります。

声の話題として、腹話術は「いっこく堂」さんなどでやっていますが、マ行、パ行、バ行は、腹話術で出しにくい音といわれています。これは調音点があるため唇を動かさないといけないため出しにくく、「いっこく堂」さんは努力で克服したといいますが、口の中の形を工夫したと思います。大声コンテストで、上位入賞の秘訣は、「あ」と「お」を含んだフレーズを使うとよいです。

次に声帯の病気のことで、声帯結節は、声帯のタコみたいなもので、よく声を出す先生、歌手に多く、声帯ポリープは、声の酷使によってできるもので、咽頭ガンは、タバコを吸う人は、吸わない人の10倍なりやすいと言われています。声帯萎縮は、声帯が萎縮しているもので、生まれつきや加齢によるものです。

次に燕下の話ですが、燕下は飲み込みのことで、口腔期、咽頭期、食道期に分かれ、無意識の咽頭期、食道期の時に誤えんが起きます。

飲み込みの障害の原因としては、脳の障害、口の病気、咽頭の病気、加齢等いろいろあります。むせが多くなってきた時や咳き込む時は、飲み込みの検査をされた方がいいです。

誤えんと誤飲をよく間違えることがあります。誤えんは、食事とか水分が誤って気管に入ってしまう、むせたりするもので、誤飲は本来食べるべきでないものを誤って飲み込んだものを指します。誤えんの対処方法は、人を集め側臥位が頸部を伸ばし、背中をたたき、掻き出すか、後は、体の後ろからみぞうちに手を入れ押すハイムリッヒ法、意識があればハフイング法があります。 本日はご静聴ありがとうございました。

ニコニコ・ソーリー

千葉会長、泉水幹事

蔵内様本日は卓和ありがとうございました。

蔵内玲子会員

息子の卓和をご清聴いただきましてありがとうございます。

千葉会長、津留会員、西村会員

じじゅん

還暦の会ありがとうございました。60才は耳順(ミミに従う)とか言うそうです。

今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします

出席報告

前々回 75.5% 本日出席 36名 欠席 9名 本日出席率 80%